（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市中央体育館
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	体育館及びスポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度85％以上
指定管理者名	スポーツパーク八幡屋活性化グループ 【構成員】 一般財団法人大阪スポーツみどり財団 株式会社COSPAウエルネス 美津濃株式会社 ミズノスポーツサービス株式会社 株式会社加藤商会 イオンディライト株式会社
指定期間	令和３年４月１日～令和８年３月31日（５年間）
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

２　管理運営の成果・実績(体育館)

成果指標		利用者満足度
数値目標		85%
年度実績		99.0%
達成率		116.5%

２　管理運営の成果・実績(トレーニング室)

成果指標		利用者満足度
数値目標		85%
年度実績		91.8%
達成率		108.0%

利用状況（メインアリーナ）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	87.7%	92.7%	-5.0%

利用状況（サブアリーナ）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	93.1%	96.2%	-3.1%

利用状況（柔道場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	73.5%	76.2%	-2.7%

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

利用状況（剣道場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	66.4%	69.4%	-3.0%

利用状況（会議室大）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	58.9%	62.3%	-3.4%

利用状況（会議室中）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	51.1%	49.1%	2.0%

利用状況（会議室小1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	47.7%	48.5%	-0.8%

利用状況（会議室小2）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	43.6%	45.4%	-1.8%

利用状況（会議室小3）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	51.1%	54.7%	-3.6%

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	301,642,900	738,220,322	44,344,230	修繕費の精算による
	計画	257,298,670	257,307,670		
利用料金（使用料）収入	実績	357,793,180	330,808,260	145,193,180	コンサートなどの興行は13件の開催し、ＳＶリーグの利用が増加したことで大幅な増額
	計画	212,600,000	212,600,000		
自主事業収入	実績	111,593,302	102,641,310	55,153,302	多くの大会やイベントを開催できたことにより施設の来場者数が増加し、駐車場、自動販売機の利用収入が大幅に増加
	計画	56,440,000	55,786,000		
その他収入	実績	1,538,423	0	1,538,423	基地局収入
	計画	0	0		
合計	実績	772,567,805	1,171,669,892	246,229,135	
	計画	526,338,670	525,693,670		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	141,403,158	141,109,013	606,913	ほぼ同一
	計画	140,796,245	139,613,791		
物件費	実績	305,576,728	379,162,908	38,734,561	水道代他、物価の増嵩による増加
	計画	266,842,167	267,481,167		
修繕費	実績	107,437,173	469,301,467	87,237,173	トイレ洋式化、壁塗装、アリーナ床修繕、消防設備修繕、メインアリーナ、サブアリーナLED化他
	計画	20,200,000	20,200,000		
自主事業支出	実績	45,669,775	43,718,180	9,454,775	人件費高騰による講師謝礼見直し等
	計画	36,215,000	36,215,000		
その他支出	実績	75,576,028	72,764,656	13,290,770	本社管理費見直し他
	計画	62,285,258	62,183,712		
合計	実績	675,662,862	1,106,056,224	149,324,192	
	計画	526,338,670	525,693,670		

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（体育館）	116.5%	A	
利用者満足度（トレーニング室）	108.0%	B	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
○光熱水費の縮減 ・契約する電力会社を比較検討し、最も安価な電力会社と契約しました。 ・トイレや諸室の不要な照明や空調のＯＮ・ＯＦＦを細やかに管理しました。 ・親水目的の流水設備（公園、体育館）の運転停止を継続しています。 ・施設内の照明の分割点灯を実施しました（中央体育館・大阪プール）。 ・共用通路ロビーは、夕暮れまで消灯しました。 ・中央体育館では、夜間設営時における不要エリアの照明の消灯を行いました。 ・中央体育館では、館内空調の共用部分の一部を停止しました（館内温度によっては運転を実施）。 ・中央体育館では、エレベーター８台中、２台を停止しました。 ・空調使用時の設定温度を環境省推奨温度に設定しました。 ・トイレ、シャワー等の流量制限を引き続き行い、新たに検討しました。 ・各トイレの洗面所の蛇口の水圧を必要最低限のレベルにまで絞りました。 ・利用者に対し、不要な照明のスイッチオフなど節電協力を仰ぎました。 ○備品や消耗品の購入費縮減 ・日頃から備品の異常チェックを怠らず、不具合があれば職員自ら修繕できるものはすぐに対応することで、備品を長く安全に使用できるようにしました。 ・消耗品は在庫管理を徹底し、ムダのないよう購入量の適正化を図り	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

５　利用者ニーズ・満足度等

○ご意見箱の設置

中央体育館・大阪プールとも引き続き「ふれあいＢＯＸ」（ご意見箱）を設置して、いただいたご意見とその回答を掲示しました（中央体育館ではご意見は１件ありました）。

○日ごろのコミュニケーション

利用しやすい施設をめざし、親しみやすく、信頼される施設管理者となるために、利用者とのコミュニケーションを積極的に行い、今まで以上にご意見やご要望等を、より早く、より深く聴きとるよう心がけました。また、いただいたご意見やご要望等は連絡ノートを活用し、スタッフ内で共有するとともに、職員ミーティングで検討することで、施設の運営や設備改修、備品入替えの参考とし、施設の管理運営に反映させました。

八幡屋公園では月２回、スタッフによる八幡屋公園事業ミーティングを開催しています。事業の情報共有や、各担当者の業務の進捗状況を確認するとともに、コミュニケーションの取りやすい職場環境づくりに取り組みました。

【トレーニング室】

○利用者満足度

今年度の利用者満足度は、「非常に満足である」「満足である」の合計値が９２.５％となりました。ほとんどの方から高評価をいただいた結果を励みとし、引き続き高い評価をいただけるよう利用者の声を真摯に受け止め、施設運営に努めてまいります。

○いただいたご意見

・施設内で特に良かったところを集計した結果、もっとも多かったのは「トレーニング機器が充実している」、次いで「スタッフや指導者の対応・接客がよい（笑顔、親切、指導力、知識が豊富）」と、昨年に引き続きとても嬉しい評価をいただきました。

・改善すべきところについては、「トイレが古い」「トイレの増設・洋式化」「ウォシュレットの設置」など、トイレに関するご意見が多く、施設としては皆様が気持ちよくご利用いただけるよう改善を進めたいと考えています。

【施設利用団体】

１９０を超える施設利用団体に対し、営業時間・館内の表示や案内・施設の快適さ、清潔さ・競技用具や備品・施設設備（音響、照明等）・利用手続きや支払い方法・利用料金・スタッフの対応・総合満足度といった項目についてご意見をお伺いしました。施設の利用目的は多岐にわたりますが、どの項目においても高い評価をいただきました。また、多くのご意見・ご要望をいただき、その貴重なご意見に関しては職員間で共有・検討するとともに、可能な限り施設の管理運営に反映できるよう努力しています。

【教室参加者】

・参加者からは概ね高評価をいただいております。

・「電子決済やクレジットカード決済にしてほしい」と受講料の支払いに関するご要望を多くいただいております。単館で取り扱う現金と手数料の割合に係る課題はありますが、デジタル化の推進を行い、少しでも参加者の意向に沿うよう検討してまいります。

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

６　外部専門家意見

コンサート・プロスポーツ興行を積極的に誘致することで、施設利用料収入が年々増加し昨年度に引き続き計画を大きく上回っていることは、大きく評価できる。また、積極的な新規教室の開設などに伴い、来場者の増加に繋げたことで駐車場、自動販売機の自主事業収入が計画を大幅に上回っているとのことで評価できる。今後も、既存利用者の利用拡大に加え、これまで施設との関わりが少なかった層の利用や、潜在的な利用者の掘り起こしにつながるような利用促進策をぜひ維持・拡大されたい。また、会議室等を活用した事業を展開することで、施設全体の稼働率向上にも寄与する可能性がある。

利用者アンケートなどにある「いただいた意見」（改善要望）への真摯な対応(特に公園内のスケボー対応など)により、利用者満足度の向上につなげている点も評価できる。

施設の老朽化に伴って修繕費など維持管理に経費は相当必要となることが容易に想像できるが、利用者の満足度向上の面から館内和式トイレの洋式化・アリーナ座席シート張替えなど施設の魅力向上に取り組んでいる中、経費節減にも努めた結果、トータル収支をプラスとしていることは高く評価できる。こうした成果は、民間事業者のノウハウを活用した施設運営が一定の成果を上げていることを示すものと考えられる。

利用者ニーズとして、電子決済やクレジットカード決済の導入の声が例年寄せられているようであり、次年度からは新たな指定管理期間となることもあるため、ニーズに応じた対応を早急に検討されたい。大規模改修工事も予定しているとのことだが、それまで老朽化する施設のメインテナンスや休館期間中の事業・利用者との関係維持など、経営上のさらなる工夫が求められる。これまでの成果を活かしながら、引き続き施設の魅力向上と持続的な運営に尽力されることを期待したい。

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	大阪市立大阪プール
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	スポーツパーク八幡屋活性化グループ 【構成員】 一般財団法人大阪スポーツみどり財団 株式会社COSPAウエルネス 美津濃株式会社 ミズノスポーツサービス株式会社 株式会社加藤商会 イオンディライト株式会社
指定期間	令和３年４月１日～令和８年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

２　管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		93.8%
達成率		117.3%

２　管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		

２　管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		92.8%
達成率		116.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比	
利用人数	152,971	58,593	94,378	**※前年度50mプール天井改修工事のため休館**
稼働率				**※前年度25mプール天井改修工事の影響で3か月半休館**

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比	
利用人数	19,237	0	19,237	**※前年度天井改修工事**
稼働率				

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	332,625,344	309,388,934	21,277,157	
	計画	311,348,187	311,278,487		
利用料金（使用料）収入	実績	63,227,525	10,719,220	-72,475	
	計画	63,300,000	63,300,000		
自主事業収入	実績	55,237,658	27,681,941	8,857,658	受講料改定により増収
	計画	46,380,000	46,230,000		
その他収入	実績	287,839	0	287,839	専用使用キャンセル料
	計画	0	0		
合計	実績	451,378,366	347,790,095	30,350,179	
	計画	421,028,187	420,808,487		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	118,001,969	92,834,875	24,219,454	最低賃金の上昇および 夏季専用増加による人員配置の増
	計画	93,782,515	92,661,515		
物件費	実績	242,252,302	197,034,879	22,023,287	資材高騰によるもの
	計画	220,229,015	219,858,315		
修繕費	実績	48,635,595	29,833,430	28,635,595	資材高騰によるもの 経年劣化による設備更新の増加
	計画	20,000,000	20,000,000		
自主事業支出	実績	18,055,932	24,278,368	-24,594,068	配置職員で対応に よる人件費の抑制
	計画	42,650,000	42,542,000		
その他支出	実績	46,867,777	43,842,890	2,501,120	
	計画	44,366,657	45,746,657		
合計	実績	473,813,575	387,824,442	52,785,388	
	計画	421,028,187	420,808,487		

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

４　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（屋内プール）	117.3%	A	
利用者満足度（アイススケート）	116.0%	A	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
○光熱水費の縮減 ・契約する電力会社を比較検討し、最も安価な電力会社と契約しました。 ・トイレや諸室の不要な照明や空調のＯＮ・ＯＦＦを細やかに管理しました。 ・施設内の照明の分割点灯を実施しました（中央体育館・大阪プール）。 ・共用通路ロビーは、夕暮れまで消灯しました。 ・空調使用時の設定温度を環境省推奨温度に設定しました。 ・トイレ、シャワー等の流量制限を引き続き行い、新たに検討しました。 ・各トイレの洗面所の蛇口の水圧を必要最低限のレベルにまで絞りました。 ・利用者に対し、不要な照明のスイッチオフなど節電協力を仰ぎました。 ○備品や消耗品の購入費縮減 ・日頃から備品の異常チェックを怠らず、不具合があれば職員自ら修繕できるものはすぐに対応することで、備品を長く安全に使用できるようにしました。 ・消耗品は在庫管理を徹底し、ムダのないよう購入量の適正化を図りました。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

５　利用者ニーズ・満足度等

○ご意見箱の設置
　中央体育館・大阪プールとも引き続き「ふれあいＢＯＸ」（ご意見箱）を設置して、いただいたご意見とその回答を掲示しました（中央体育館ではご意見は１件ありました）。
○日ごろのコミュニケーション
　利用しやすい施設をめざし、親しみやすく、信頼される施設管理者となるために、利用者とのコミュニケーションを積極的に行い、今まで以上にご意見やご要望等を、より早く、より深く聴きとるよう心がけました。また、いただいたご意見やご要望等は連絡ノートを活用し、スタッフ内で共有するとともに、職員ミーティングで検討することで、施設の運営や設備改修、備品入替えの参考とし、施設の管理運営に反映させました。
　八幡屋公園では月２回、スタッフによる八幡屋公園事業ミーティングを開催しています。事業の情報共有や、各担当者の業務の進捗状況を確認するとともに、コミュニケーションの取りやすい職場環境づくりに取り組みました。

【大阪プール】
○利用者満足度
・令和７年度の利用者満足度は、「非常に満足である」「満足である」の合計値が９３．８％となりました。５０ｍプールの長い休館で、利用者にご不便をおかけしているにもかかわらず、高評価をいただいたことは、従業員の良い励みになります。引き続き高評価を獲得できるよう、利用者に心地よい空間をご提供できるよう努力いたします。
○いただいたご意見
・施設内で特に良かったところを集計した結果、「いつも清潔」「接客が良い」「スタッフが親切」「指導コーチが優しい」など、接客に対する評価を多く頂戴しております。日頃から利用者ファーストの姿勢で丁寧な接遇が評価につながったものと考えます。
・施設の美化や衛生対策として、ロッカーの消毒・清掃を継続して行ったことに対して、利用者からいただいた感謝の言葉は、私たち職員の励みとなりました。今後も利用者が安全かつ快適に施設を使っていただけるよう努力し続けたいと考えています。
今後も、これらのような利用者のご意見を施設の管理運営に活かすことができるよう検討し実行してまいります。

【アイススケート場】
○利用者満足度
・令和７年度の利用者満足度は、「非常に満足である」「満足である」合計値が９２．８％となりました。３シーズンぶりの開場にも関わらず、高評価をいただいたことは感謝しかありません。
○いただいた意見
・スケートのご利用者は、長時間滞在のため、多くの方が食べ物の提供を要望される意見がございました。次シーズンは、自動販売機や軽食などの提供ができる環境を整備して参ります。

６　外部専門家意見

　50ｍプール及びアイススケート場は、前年度の改修工事に伴う休館によって利用者離れが懸念されたが、多くの利用者に戻ってもらえたようで施設の魅力や情報発信の成果であると思われる。また、近隣施設の工事休館の影響で、水泳大会（競泳・水球・飛込・ＡＳ）をシーズン通して受入れしたことで、過去最高の団体受入れとなったとのことなので、引き続き団体に利用してもらえるよう各種取り組みを継続していただきたい。
　人件費や資材の高騰により経費が計画を大きく上回っており、トータル収支も赤字となっているため民間事業者ならではの創意工夫により節減に努め、収支の改善につなげていただきたい。
　また、利用者の利便性向上のため事務所を移転し５０ｍプールの受付事務所を移転したことについて評価できる。今後も、前例にとらわれず利用者目線に立った柔軟な施設運営や施設の魅力向上に取り組んでいただきたい。

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	